

わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します

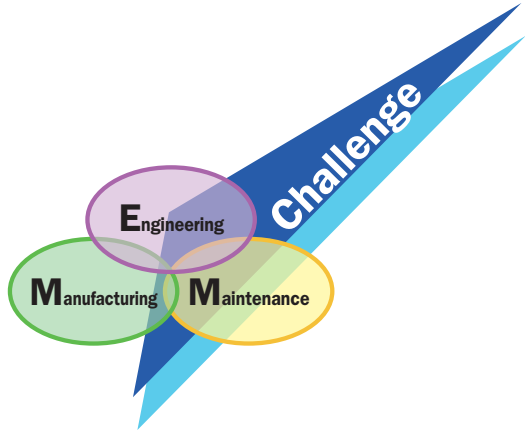


「素材」を作る「設備」「機器」をお客様へ

関西ティーイーケイ(株)は、東レ・東レエンジニアリンググループの一員であり、「エンジニアリング」と「機器製作」を業務としており、創立以来、41年間業容の拡大を図ってきました。

東レグループは「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」を企業理念に掲げて、「全ての製品の元となる素材には、社会を本質的に変える力がある」という強い信念のもと、「Innovation by Chemistry」をスローガンとして社会へ貢献しています。

当社も、その「素材」を作る「設備(プラント)」「機器」を東レグループでの経験をベースに、「保全」も含めて高度な技術・技能を提供する「トータル・エンジニアリング」を旗印にして、お客様の信頼を得るべく努力していきます。



企業理念とCSRの具体的推進について

東レグループの企業理念をトップとした経営理念体系(P.2図1参照)を踏襲し、CSRとは経営理念を実現することと考えています。

経営基本方針、企業行動指針、企業倫理・法令遵守行動規範は、その活動の基本となるものであり、全てがひとつに収斂して行くものです。関西ティーイーケイ(株)においても、この考え方に沿って、社員全員へ、CSRが追加された活動ではないことを意識付けしています。現在、2014年度をスタートとする3か年中期経営課題に取り組んでおり、その第一に「CSRを基本とした企業経営」を掲げています。

東レグループでは、従来から推進している地球環境へ貢献するGR(グリーンイノベーション)プロジェクトに加えて、医療現場の負担を軽減し、健康・長寿に貢献するLI(ライフイノベーション)プロジェクトを推進しています。関西ティーイーケイ(株)は、その中核となる炭素繊維や医薬のプラント建設から、「素材」の研究・技術開発段階をテストプラント段階からサポートして、お客様の手足となり、東レグループの中期経営課題の達成へ貢献していきます。

持続的発展を目指して

企業が社会と同様に持続的に発展するためには、お客様へ製品・技術・サービスを提供し、且つ社会の発展と環境の保全・調和に重要な役割を果たさなければなりません。

今回、いろいろな指標、環境関係データを、東レ(株)の関係会社という立場に甘えることなく、東レグループCSRレポートと同様に、CSRガイドラインの区分に従って、既に出ていたものと不十分なものを見直し、出ていないものは将来計画を設定する作業を実施しました。

全てのステークホルダーにとって高い存在意義を持つ企業集団となるため、全社員、全職場がCSRの推進に努め、社会に貢献していくことを誓います。

本CSRレポートは、地域の皆様をはじめ社会の皆様は当社のCSR活動をご理解いただくために、2014年度の成果を、アクションの背景にある方針や計画(目標)とともにまとめました。

忌憚のないご意見、ご要望を賜れば幸いです。

2015年4月

おお た すすむ

関西ティーイーケイ株式会社
代表取締役社長

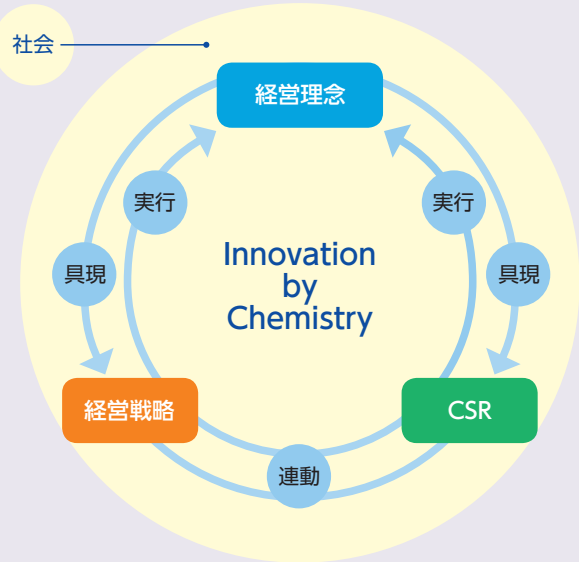
太田進

関西ティーイーケイ(株)のCSR

関西ティーイーケイ(株)は、持続可能な社会の構築への貢献と持続的な発展の両立を目指している東レグループの企業として、「事業拡大とCSRは車の両輪」という考え方の下、CSRを推進しています。

CSRとは、社会的責任の国際規格ISO26000の定義によれば、組織の活動が社会および環境に及ぼす影響に対する責任(Responsibility)であり、加えて、東レグループでは、社会および企業が持続的発展をなすために、社員一人ひとりが社会的課題や変化に対応する(Response+Ability)を培い、行動することと捉えています。

図2 経営理念・経営戦略・CSRの一体的推進



関西ティーイーケイ(株)のCSRの推進体制

関西ティーイーケイ(株)では、CSRに関する重要課題を審議するために、全社委員会のひとつとして「倫理委員会」を設置し

ています。倫理委員会は、3つの全社委員会を横断的に統括しており、組織全体でCSRを推進する体制を構築しています。

図3 CSR推進体制

